

2016 年日本語教育シンポジウム
プログラム

7月7日(木)				
8:15-9:00	受付 (Auditorium Santa Margherita)			
9:00-9:30	開会式 開会の辞 大学学長 挨拶 DSAAM + AIDLG 学科長 AJE 会長			
9:30-10:45	基調講演 1 (Auditorium Santa Margherita) Wesley JACOBSEN (Reischauer Institute of Japanese Studies at Harvard University) How can linguistics contribute to learning Japanese? ~with a focus on the acquisition of invisible linguistic structures~			
10:45-11:30	コーヒブレイク (次の会場への 10 分の移動時間含む)			
	会場 1 Rio Novo 3	会場 2 Rio Novo RN	会場 3 Rio Novo 7	会場 4 Rio Novo 8
	司会 : Patrick HEINRICH	司会 : Giuseppe PAPPALARDO	司会 : 三輪聖	司会 : Antonio MANIERI
11:30-12:00	パネル 野田 尚史 (National Institute for Japanese Language and Linguistics) 小西 円 (国立国語研究所) 桑原 陽子 (University of Fukui)	上山素子 (University of Bologna) Systematic L1-L2 comparison for multiple L1-L2 combinations to predict overall difficulties in learning Japanese prosody	根本 菜穂子 (Mount Holyoke College) 語学レベルが異なる学習者が対等に学ぶ環境を創る CLIL 型日本語学コースの試み	佐藤 紀子 (Budapest Business School) ハンガリー人日本語ビジネス通訳者の実態調査とその日本語教育への応用

2016 年日本語教育シンポジウム AJE-AIDLG - Ca' Foscari University of Venice July 7-8-9, 2016

	穴井 宰子(Oxford Brookes University)			
12:00-12:30	中島 晶子 (Université Paris Diderot-Paris 7) 村田 裕美子 (Japan-Zentrum der Ludwig-Maximilians-Universität München) 実生活に役立つ初級日本語読解教材の作成と試用	鈴木 菜津美 宮本 真有 深田 淳 (Purdue University) アニメーションテロップを使用したオンライン復唱練習が発音習得に与える効果：アクセントと特殊拍を中心に	川本 健二 (Çanakkale Onsekiz Mart University) ビデオ映像を通しての他者理解についての思想的考察 ービデオ会議ディスカッションの事例からー	田村 直子 (University of Bonn) パチケ 葉池 (University of Cologne) 日独翻訳授業を通しての社会貢献と自己実現 -広島と長崎の被爆者証言の翻訳プロジェクトを例に
12:30-13:00		畑佐 由紀子 高橋 恵利子 (広島大学) 英語を母語とする日本語学習者の発音の評価傾向 ー日本語学習者の発音能力診断システム開発のための基礎研究ー	林 良子 (神戸大学) 国村 千代 (University of Rennes) 遠隔授業における異文化コミュニケーション能力ー「面白い話」を題材とした仏日共同授業からー	金漢植(キム・ハンシク) (韓国外国語大学) 医療通訳者教育の課題と社会貢献のあり方ー韓国保健福祉人材開発院の日韓医療通訳教育を中心にー
13:00-14:30	ランチブレイク AJE Desk (役員が交代で) Global Network Get-together 『「面白い話」で世界をつなぐ』(会場4)			
	司会：Marcella M. MARIOTTI	司会：上山素子	司会：田中久仁子	司会：濱田朱美
14:30-15:00	佐藤 慎司 (Princeton University) 福祉、複言語主義と日本語教育：コミュニティ参加型プロジェクトの可能性	Giuseppe Pappalardo (Ca' Foscari University of Venice) 中間言語音韻論研究ーイタリア語母語話者による日本語ピッチアクセントの知覚と生成の実験結果分析ー	Divna Trickovic & Ljiljana Marković (Univeristy of Belgrade) 学生から学生へー漢字習得を事例とした新たな教育学の開発	門脇 薫 (摂南大学) JFL 環境における日本語母語話者教師と非母語話者教師の協働

15:00-15:30	高橋 希実 (University of Bordeaux Montaigne) ノウハウの習得から実存的能力の育成へ 日本語学習者はどのようなスキルを発展させるべきか：留学準備をするフランス人学生を例に	三輪 譲二 (岩手大学) スマートフォンを用いた特殊拍音声産出の自律学習支援	松永 修一 (十文字学園女子大学) 岸江 信介 (徳島大学) 峪口 有香子 (徳島大学) 大学における地域貢献と PBL 型日本語教育の実践研究 (中山間地での協働を事例にして)	Uliana Strizhak (Moscow City Teachers' Training University) 大田 美紀 (国際交流基金モスクワ日本文化センター) ロシアにおける日本語教育パラダイムシフトへの挑戦
15:30-16:00	三木 杏子 許 明子 (ホ・ミョンジャ) (筑波大学) フランス語母語話者のパーソナル・テリトリーにかかわる言及の有無と発話内容に関する分析 一日韓中とのコミュニケーション・スタイルの比較—	朽方 修一 (Erciyes University) ライトノベルにおける女性文末形式	百濟 正和 (Cardiff University) コミュニケーション環境設計のためのタスク —その実践と振り返りのための一試案—	西川 寛之 (明海大学) 初級テキストを使って、漫画が読めるように指導できるか
16:00-16:30	コーヒブレイク			
17:00-18:30	AIDLG 総会			
18:45-20.30	ウェルカムレセプション (VeniceEat)			
7月8日(金)				
9:15-10:30	基調講演 2 (Dolphin/Auditorium) 久保田竜子 (University of British Columbia)			

多様性・多面性から再考する言語教育の役割				
10:30-11:15	コーヒブレイク			
	会場 1 Rio Novo 3	会場 2 Rio Novo RN	会場 3 Rio Novo 7	会場 4 Rio Novo 8
	司会 : Barbara PIZZICONI	司会 : 大上順一	司会: Tiziana CARPI	司会 : 岩崎典子
11:15-11:45	PANEL 217 宇佐美 まゆみ (国立国語研究所) 東 伴子 (Grenoble Alpes University) 高木 三知子 (Institut Libre Marie Haps/ Japanese Supplementary School of Brussels)	吉田 桃子 (Ca' Foscari University of Venice) イタリア語話者の日本語作文 の誤用分析から分かること	ジロー岩内 佳代子 (University of Cergy-Pontoise) コンピューターを使用しての 日本語日本文化学習	小間井 麗 (INALCO - Paris) 学習者アイデンティティと日 本語教育イデオロギーの関係 ～フランスの大学の日本語専 攻の学生調査をもとに
11:45-12:15	インボライトネスと日本語教育－異文 化理解促進のために日本語教育に何が できるか－	吉成 祐子(岐阜大学) 江口 清子 (Applied Technology High School, Abu Dhabi) 眞野 美穂 (鳴門教育大学) イタリア語およびハンガリー 語を母語とする日本語学習者 の移動表現：類型論からみた 母語の影響	ソーリアル 直子 (Baruch College, The City University of New York) 学習者のウエルフェアの向上 を目指した試み：携帯メール による反復練習の効果	市嶋 典子 (秋田大学) 海外の日本語学習者の言語選 択とアイデンティティ－シリ アの日本語学習者の語りから －
12:15-12:45		Aldo Tollini (Ca' Foscari University of Venice) How to teach the decoding of <i>kanji</i> strings	相川 孝子 (Massachusetts Institute of Technology) Language Learning in a Shared Virtual Space JaJan, an Application of the Next Generation	森本 一樹 (University of Leeds) 日本語学習者の“L2 Self” は 留学を通してどのように変わ ったか

12:45-14:00	<p>ランチブレイク AJE Desk (役員が交代で) Global Network Get-together 『複数の言語・文化環境に生きる子どもたちへの日本語学習サポートプロジェクト』(会場4)</p>			
13:45-15:15	<p>ポスターセッション 会場4 Rio Novo 8, Rio Nuovo 5</p>			
	司会：Patrick HEINRICH	司会：Paolo CALVETTI	司会：Silvana DE MAIO	司会：岩崎典子
15:15-15:45	<p>Riikka LÄNSISALMI (University of Helsinki) Contents and conceptualisation of Japanese language learning. Unexplored contexts. “Charming” or “arming” learners?</p>	<p>大上 順一 (University of Naples “L’Orientale”) 他動性を通じた日伊語対照研究 日本語教育への貢献を視野に入れて</p>	<p>齋藤 あずさ (国際交流基金ローマ日本文化会館) 文型積み上げ型授業から課題遂行型授業への移行 -CEFRと JF 日本語教育スタンダードを参照した授業実践報告</p>	<p>徳井 厚子 (信州大学) ウェルフェアのためのコミュニケーション支援—外国人相談員の語りから</p>
15:45-16:15	<p>吉田 真樹 (The University of Melbourne) Rethinking ‘Correct’ Gender Ideologies in the Japanese as an Additional Language Classroom</p>	<p>新谷知佳 (Erciyes University) 対応する自動詞・他動詞の意味的特徴とそれぞれの使用頻度との関係性</p>	<p>鈴木 裕子 (University of Madrid) 近藤 裕美子 (国際交流基金マドリッド日本文化センター) 学び続ける教師を支える日本語教師会の意義—スペイン日本語教師会 (APJE) 会員への質問紙調査を通して—</p>	<p>平畑 奈美 (滋賀大学) 「開発途上国支援としての日本語教育」の新射程 インドで活動する国際ボランティア日本語教師へのインタビュー調査から</p>
16:15-16:45	<p>藤野 華子 (Oxford Brookes University) 受け身の学習者から自立した言語使用者へ—学習者による文法ウィキプロジェクト—</p>	<p>仁科 陽江 (広島大学) 教科書で扱われにくい文法化された動詞の意味用法と関連構文。整理と説明の試み</p>	<p>スルツベルゲル・三木 佐和子 (University of Bern) ベルン大学の日本語コースで E-Portfolio 導入を試みた実践報告</p>	<p>牛山 和子 (Grenoble Alpes University) 日本企業での研修を想定した学習活動がもたらすもの—ケーススタディ：日本語学習者のウェルフェア構築の過程と学習者の成長</p>

17:00-18:20	AJE 総会			
18:30-20:00	ヴェネツィア・ウォーキングツアー (予約制)			
20:00	懇親会 (Ristorante Ogio)			
7 月 9 日 (土)				
9:00-10:15	基調講演 3 (Rio Novo 3/Dolfin) Patrick HEINRICH (Ca' Foscari University of Venice) Welfare as an Objective in Japanese Language Education			
10:15-11:00	コーヒブレイク			
	会場 1 Rio Novo 3	会場 2 Rio Novo RN	会場 3 Rio Novo 7	
	司会 : Marcella MARIOTTI	司会 : Francesco VITUCCI	司会 : フックス清水美千代	
11:00-11:30	パネル 野山 広 (国立国語研究所) 嶋田 和子 (アクラス日本語教育研究所) 村田 晶子 (法政大学)	山下 悠貴乃 小野 正樹 (筑波大学) 日本語母語話者と非日本語母語話者のビジネス場面における配慮表現について－クレームを言う場面を中心に－	田中 久仁子 (University of Bergamo) 高校における日本語課外講座向けのシラバス開発及び評価の策定プロジェクト (中間報告)	
11:30-12:00	在住外国人の日本語会話能力と言語生活に関する縦断研究－Welfare Linguistics という観点から－	鈴木 正子 (Ca' Foscari University of Venice) 上級学習者における待遇表現学習の授業実践報告	友沢 昭江 (桃山学院大学) 多様な言語背景と日本語能力をもつ高校生を対象とする日本語教育の可能性。大阪府立高校の実践から	

12:00-12:30		鎌田 修 (南山大学) 伊東 祐郎 (東京外国語大学) 嶋田 和子 (アクラス日本語教育研究所) 西川寛之(明海大学) 野山 広 (国立国語研究所) 六川 雅彦 (南山大学) 日本語口頭能力試験“JOPT” の開発とその意義: アカデミ ック、ビジネス、そしてコミ ュニティー部門における共生 に基づく言語使用能力の測定	神尾 りさ (International University of Sarajevo) 「ジャパン・ボウル」大会を 開催しませんか? ~日本 語・日本文化クイズ大会の開 催に向けて	
12:30-14:00	ランチブレイク VenicEat buffet			
	司会: Paolo CALVETTI	司会: Aldo TOLLINI	司会: 濱田朱美	
14:00-14:30	Barbara Pizziconi & 岩崎 典子 (SOAS University of London) Learners' welfare in Japan during periods of study abroad – the development of intercultural competence	小野 正樹 (筑波大学) 田村 直子 (University of Bonn) 山下 悠貴乃(筑波大学) 守時 なぎさ (University of Ljubljana) 日本語学習者の「言い換え」 について —内包的意味との 比較	山本 絵美 (Leiden University & 早稲田大 学) 米良 好恵 上野 淳子 (てらこやアムステルダム) マルチリンガル児童のための 日本語教科書「おひさま」の 開発および実践報告	
14:30-15:00	大枝 由佳 森本 一樹 (University of Leeds)	中山 悦子 (Ca' Foscari University of Venice)	杉田 優子 (University of Duisburg-Essen) 安藤 由夏 (Gerhard-Mercator-University)	

2016 年日本語教育シンポジウム AJE-AIDLG - Ca' Foscari University of Venice July 7-8-9, 2016

	日本人留学生を交えた初中級日本語既習者クラスでのピアラーニングの実践	母語から日本語へ 母語を出発点とする語彙学習の試み	of Duisburg) 「考えて発信する」ことを目指す日本語授業の試み	
15:00-15:30	原沢 伊都夫 (静岡大学) 知識の習得から知識の活用へ—留学生と日本人学生の合同授業の実践報告—	相川 弓映 (国際交流基金ブダペスト日本文化センター) 学習者は「辞書」の結果をどのように選択しているのか 確認中	石山 友之 (Canakkale Onsekiz Mart University) 「学習者中心」を意識した「教材開発」の活動	
15:30-16:00	閉会式			